



栗高生・手づくりハンドモップをプレゼント！

—南町内会ふれあいサロン—

栗高の生徒たち(家庭看護を選択)が、心をこめて手づくりしたハンドモップ(90個)をふれあいサロン活動の参加者にプレゼントしました。

- 第5期地域福祉実践計画策定…………… 2
- まちなかケアラズカフェ、
脳健康教室…………… 3
- 平成25年度社協事業計画・予算…………… 4
- 平成24年度社協事業報告・決算…………… 5
- 全町花いっぱい運動…………… 6
- 夏休み体験ボランティア…………… 7
- 社協からお知らせ…………… 8

サンタの笑顔



●営業日 月曜日～土曜日
(日・祝祭日休み)

●営業時間 午前10時～午後4時

いきいき交流プラザ

◆電話:72-7889

【いろいろ相談】

◆健康相談(保健師)

・毎週月曜日
・10時～11時30分

◆街かど介護相談

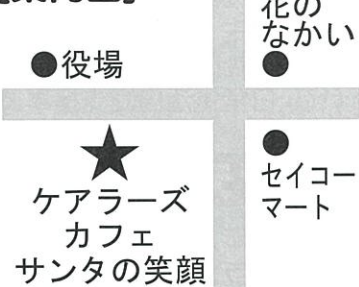
(町内のケアマネジャー等有志)
・毎月第1火曜日
・13時～14時

◆消費生活相談会

(消費者協会)
・毎月第1火曜日
・13時～15時

・コーヒー	150円
・アイスコーヒー	150円
・アイ스티ー	150円
・紅茶	150円
・ジュース	100円
・ケーキ	200円
・かぼちゃプリン	150円
・たい焼き	80円

【案内図】



まちなかケアラズカフェ サンタの笑顔看板設置!

まちなかケアラズカフェ「サンタの笑顔(ほほえみ)」は、昨年11月のオープンから今年の3月末までに3,538名の方にご利用をいただきました。

カフェは、ケアラーを含めた誰もが話をしたり、カフェを利用したり、趣味を楽しんだりと自由に楽しめる「たまり場」です。ホッとしたい時に足を運んでみませんか?



あなたが
ホッとしたい時
足を運んで
みませんか?



読み書きや簡単な計算で脳が活性化 一脳健康教室

今年度から社協が、栗山町より受託している「脳の健康教室」が6月6日、まちなかケアラズカフェ『サンタの笑顔(ほほえみ)』で開校しました。

教室は、人間の脳が難しい計算している時ではなく、読み書きや簡単な計算をしている時ほど、脳の血流が良くなり、活性化する「脳の健康維持」を実践するもので、教材を使った「読み書き」、「簡単な計算」と「すうじ版」を使ったトレーニングを行います。

受講者16名は、学習サポーター(町民ボランティア)と3人1組で教材に取り組みます。

この教室は、そのほかにからだを使った体操や介護予防講話なども取り入れながら、11月まで全24回行われます。



第五期地域福祉実践計画策定(平成25年度～29年度)

社会福祉協議会は、平成25年度から5年間の新しい地域福祉実践計画の策定にあたり、第5期地域福祉実践計画策定委員会を設置し、委員に福祉関係者13名を委嘱。

委員会では、少子高齢化が進む中、地域が抱える課題を見据え、慎重に議論を重ね、本年3月26日に社協会長へ答申し、評議員会にて可決されました。

【基本理念】

くりやまならだいじょうぶ!
みんながつながり、支え合う
人にやさしいまちづくり

【基本目標】

基本理念を実現するための3つの目標

1. 地域で支え合う仕組みづくり
2. 地域を元気にするひとづくり
3. 安全・安心のまちづくり



▲ 橋社協会長に答申書を渡す吉田委員長(右)

基本計画①(地域)

地域福祉のネットワークづくり

- 地域のつながりをつくる
 - ・常に住民ニーズの把握を
 - ・地域で支え合うネットワークづくり
 - ・多様化する住民ニーズへの対応
- 見る、見せる、わかる福祉
 - ・地域福祉の総合的な情報発信
 - ・人にやさしい福祉意識づくり

基本計画②(体制)

安心して暮せる支組みづくり

- 自分らしく地域で暮らす
 - ・在宅福祉サービスの充実
 - ・社会参加への支援
 - ・各種団体・グループ等の結成と活動支援
 - ・地域での自立生活を促進する経済支援
- 個人を大切に支組みをつくる
 - ・権利擁護の推進
 - ・小地域ネットワーク活動の強化・連携

基本計画③(人材)

人や地域を育てる支組みづくり

- 人を育てる、地域を育てる
 - ・総合的学習と連携した学習機会の提供
 - ・ボランティアセンターの充実
 - ・地域福祉でまちの活性化を
 - ・福祉サービスの担い手育成
- 誰もが参加できる地域づくり
 - ・地域の商店や企業との協働
 - ・趣味や特技を生かす

基本計画④(運営)

町民に顔の見える社会福祉協議会づくり

- みんなで作る社協をめざして
 - ・社協を知ってもらう活動
 - ・自主財源の安定的な確保を
 - ・行政とのパートナーシップの強化
- 元気いっぱいの組織づくり
 - ・役職員の資質の向上にむけて

計画策定委員会委員

- 委員長 吉田輝雄
(栗山町身体障害者福祉協会会長)
- 副委員長 斉藤幸浩
(栗山町社会福祉協議会福祉部部長)
- 委員 北間則之(栗山町内連合会監事)
市川耕一(角田町内連合会会長)
柴田隆雄(継立町内連合会副会長)
西田勉(栗山町老人クラブ連合会会長)
大野美代子(栗山町女性団体連絡会副会長)
丸山紘司(栗山町民生委員児童委員協議会会長)
川畑憲吾(栗山町青少年育成会会長)
藤田敦子(栗山町ボランティア連絡協議会会長)
中井礼子(よつば会会長)
三好隆幸(栗山町社会福祉協議会福祉部副部長)
近藤光弘(栗山町住民福祉課長)
- ※策定時役職名

平成24年度社協事業報告・決算

5月29日の評議員会で決定しました前年度の事業報告と決算です。

調査企画広報事業

- ・ふれあい広場くりやま……………約800名
- ・社協だより発行……………4回(7、10、12、3月)
- ・福祉関係団体助成……………1団体

地域福祉活動事業

- ・まちを美しくする花いっぱい運動……………花苗21,500本植栽
80町内会・自治会・団体等
- ・愛らぶ活動事業……………2町内会、9自治会
- ・ふれあいサロン事業……………5町内会、1町内連合会
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)……………14件
- ・応急生活資金貸付件数……………32件
- ・生活福祉資金貸付件数……………相談8件、貸付1件
- ・無縁仏、開拓先人供養会、中国人殉難者供養会実行委員会に対する援助
- ・福祉関係団体助成……………2団体

高齢者/障害者福祉事業

- ・電話、訪問サービス事業……………27世帯
- ・あったかサンタの贈り物……………27世帯
- ・いのちのバトン配付事業……………107本配付(累計724本)
26町内会、2町内連合会、20自治会
- ・日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)……………6件
- ・車いす貸し出し事業……………40件、60台
- ・福祉の杖交付……………27本
- ・福祉関係団体助成……………5団体

ボランティア活動事業

- ・話の聴き方講座……………全5回12名
- ・夏休み体験ボランティア……………参加者23名延べ38名
- ・ボランティア研修会……………50名
- ・ボランティア団体育成援助(被災地派遣含)……………7団体
- ・学校ボランティア活動普及推進事業援助…栗山小学校、栗山高校

心配ごと相談事業

- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設12回、相談件数53件
- ・福祉関係団体助成……………1団体

在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ・配食サービス事業……………55名延べ4,102食
※月～土曜日の昼食(水・木・金曜日は、73名の調理ボランティアの手作り)
- ・除雪サービス事業…玄関前111世帯、排雪、屋根の雪下ろし30世帯
- ・障害者移動支援事業……………延べ390回

いきいき交流プラザ管理運営

- ・利用者……………小中学生612名、一般2,926名 合計3,538名
- ・いきいきスクール……………(ヨガ、お花・お茶、ちぎり絵、占い)
- ・カフェボランティア……………8団体から延べ協力者216名
- ・健康相談(毎週月曜日)
- ・街かど介護相談(毎月第1火曜日)

青少年福祉事業

- ・福祉関係団体助成……………2団体

平成24年度決算

◆一般会計

収入		(単位:円)
会費収入	3,043,350	
寄附金収入	972,928	
補助金及び助成金収入	15,000,000	
受託金収入	13,332,172	
共同募金助成金	2,025,047	
雑収入	365,236	
会計単位間繰入金収入	103,519	
施設整備等補助金収入	950,000	
積立預金取崩収入	3,443,000	
合計	39,235,252	

支出

法人運営事業	20,988,947
調査企画広報事業	842,467
地域福祉活動事業	2,420,867
高齢者/障害者福祉事業	2,507,844
ボランティア活動事業	752,052
心配ごと相談事業	304,600
青少年福祉事業	66,000
在宅福祉サービス事業	9,133,723
会計単位間繰入金支出	1,500,000
固定資産取得支出及び繰入支出	1,575,720
合計	40,092,220

繰越

次期繰越活動収支差額	4,966,002
------------	-----------

◆いきいき交流プラザ管理会計

収入		(単位:円)
受託金収入	1,717,000	
事業収入	395,985	
雑収入	9,871	
会計単位間繰入金収入	1,500,000	
合計	3,622,856	

支出

人件費支出	749,650
事業費支出	2,103,882
負担金支出	440,000
会計単位間繰入金支出	103,519
合計	3,397,051

繰越

次期繰越活動収支差額	225,805
------------	---------

平成25年度社協事業計画・予算

3月26日の評議員会で平成25年度の事業計画と予算が決定いたしました。

【重点推進項目】

1. 地域福祉活動の推進
2. ボランティア活動の推進
3. 在宅福祉サービスの推進
4. いきいき交流プラザ管理運営

地域福祉活動の推進

- (1) 愛らぶ活動事業(社協補助事業)
- (2) ふれあいサロン事業(社協補助事業)
- (3) まちを美しくする花いっぱい運動
- (4) ふれあい広場くりやまの開催
- (5) 知って得する福祉なんでも講座(福祉出前講座)
- (6) 安心・安全・福祉のまちづくりセミナー開催
- (7) 自治会組織(まちづくり協議会)との連携
- (8) 高齢者福祉事業(栗山町老人クラブ連合会との連携)
- (9) 児童福祉事業
- (10) 障がい者福祉事業
- (11) 共同募金・歳末たすけあい募金事業
- (12) 生活福祉資金貸付事業
- (13) 無料法律相談の開設(札幌弁護士会)
- (14) 社協だより発行
- (15) 民生・児童委員協議会との連携
- (16) 福祉関係団体支援
- (17) 日常生活自立支援事業

ボランティア活動の推進

- (1) 熟年人材センターの人材発掘・育成・登録者活用推進
- (2) ボランティアの発掘・育成
- (3) 学校ボランティア活動普及推進事業
- (4) 社会貢献事業
(リングブル・ペットボトルのキャップ等の有効活用)

在宅福祉サービスの推進

- (1) 栗山町からの受託事業
 - ・食事サービス事業(毎週月～土曜日)
 - ・障害者移動支援サービス事業(毎週月～土曜日)
 - ・除雪サービス事業
 - ・介護予防事業(脳の健康教室)
- (2) 電話・訪問サービス事業
- (3) 在宅(ケアラー)サポーター活動事業
- (4) 命のバトン配付事業
- (5) 宅配電話帳配付事業
- (6) 家族介護者リフレッシュ事業
- (7) ケアラー手帳配付事業

いきいき交流プラザ管理運営

- (1) 管理運営、交流プラザ内の各種事業の充実

平成25年度予算

◆一般会計

収入		(単位:円)
会費収入	3,000,000	
寄附金収入	1,000,000	
補助金及び助成金収入	15,410,000	
受託金収入	11,592,000	
共同募金助成金	1,895,000	
雑収入	50,000	
前期末支払資金残高※	4,586,000	
合計	37,433,000	

※平成24年度決算の次期繰越活動収支差額より計上

支出

法人運営事業	18,735,000
調査企画広報事業	924,000
地域福祉活動事業	2,862,000
高齢者/障害者福祉事業	2,257,000
ボランティア活動事業	837,000
心配ごと相談事業	315,000
青少年福祉事業	66,000
在宅福祉サービス事業	11,437,000
合計	37,433,000

◆いきいき交流プラザ管理会計

収入		(単位:円)
受託金収入	2,893,000	
事業収入	840,000	
雑収入	17,000	
合計	3,750,000	

支出

人件費支出	1,539,000
事業費支出	2,211,000
合計	3,750,000

夏

休み体験ボランティア参加者募集！7月25日～8月9日

社協では、「やさしさ」や「気づかい」を育む夏休み体験ボランティアを実施します。体験したいメニューを選び、お気軽にご連絡ください。

1. 老人福祉施設

- 養護老人ホーム泉徳苑・デイサービスセンター
 - 受入時間 9:00～15:00
 - ※デイは16:00まで
 - 昼食 各自持参
- 特別養護老人ホームくりのさと
 - 受入時間 9:30～15:00
 - 昼食 各自持参(※310円で施設食)
- ガーデンハウスくりやま
 - 受入時間 10:00～15:00
 - 昼食 各自持参

※活動内容
利用者とのレクリエーションやお話を通しての施設体験。

2. 配食サービス

- 活動場所 総合福祉センターしゃるる
- 受入曜日 水・木・金曜日
- 受入時間 8:30～13:00
- 昼食 調理した弁当(無料)
- 活動内容 弁当の調理と配達、回収した弁当箱の洗い作業。

3. 電話サービス

- 活動場所 総合福祉センターしゃるる
- 受入時間 9:00～12:00
- 活動内容 電話で高齢者の安否確認。

4. 知的しょうがい者授産施設ハロ-ENJOY

- 受入時間 10:00～16:00
- ※8月5日～9日の期間のみ
- 昼食 各自持参
- 活動内容 利用者と一緒に作業等体験。

5. ワークセンター栗の木

- 受入時間 8:30～15:00
- 昼食 作ったパン(無料)
- 活動内容 利用者と一緒にパン作り。

6. 児童センター

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 各自持参
- 活動内容 児童と遊びを通して体験。

7. 栗山いちい保育園

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 給食代230円
- 活動内容 乳幼児のおむつ交換や園児との遊び。

8. 継立保育所

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 給食代260円
- 活動内容 児童と遊びを通して体験。



9. ペットボトルキャップリングプル選別作業

- 日時 7月30日(火) 9:00～12:00
- 会場 総合福祉センター「しゃるる」
- 活動内容 老人クラブ会員とシールはがし等の選別作業。

【お申込・お問合せ先】

- ◆ 実施期間 7月25日(木)～8月9日(金) ※月～金曜日(土日を除く)
- ◆ 参加対象 中・高校生・専門学校生一般の方
- ◆ 参加費用 ボランティア活動保険加入料 300円 保育園・保育所は給食代
- ◆ 申込み 随時受付します。
- ◆ その他 事前のオリエンテーション有
- ◆ 申込み先 栗山町社会福祉協議会へ

第37回花いっぱい運動

5月26日、町内・自治会や関係団体のご協力により、「花いっぱい運動」が開催されました。

各地域では、草取り・花植えなどの役割を分担し、公園や街路樹に花が植えられました。

24日には、花苗と肥料の仕分けをする作業ボランティアに栗山町ボランティア連絡協議会(藤田敦子会長)より27名のご協力をいただきました。



▲朝日町内会が快挙！これこそ地域力 北海道花いっぱいコンクール職場・地域の部 優良賞を受賞



日出



角田



中里団地町内会



花苗の区分け作業



▲協力いただいたボランティアの皆さん

高齢期の住まいのセミナー

5月25日、カルチャー・ラザエキにて高齢期の住まいのセミナーを開催しました。

講師には「北翔大学大学院人間福祉学研究所の佐藤克之教授」、「北翔大学北方圏学術情報センター後藤英樹学外研究員」をお招きし、ご講演いただきました。

佐藤教授は、「子どもからお年寄りまで安心・安全に利用できる住まい・まちの実現に向けた取り組み」について、また、後藤氏は「介護保険制度や栗山町の福祉施設の概要や入所条件の違い」などを事例をあげてわかりやすく説明いただきました。

参加者は、「これまで知らなかったことが、わかって良かった」と話されていました。

41,288円 岩手県釜石市宝来館へ

4月13日、カルチャー・ラザエキで開催された手作りフェスタ会場にて、東日本大震災被災地支援活動の一環で、宝来館のポストカード販売と募金活動を実施しました。

この活動は、昨年10月にボランティア連絡協議会と社協の共催で実施した被災地派遣ボランティアに参加した6名の皆さんが企画・実施したもので宿泊した宝来館の女将さんからお聴きした「どんぐりうみねこ村プロジェクト」に感銘を受けたことがきっかけとなりました。

どんぐりうみねこ村プロジェクトは、宝来館を拠点に釜石市の復興活動として、「食」、「スポーツ」、「芸術・音楽」、「地域の財産(農業・漁業)」を活用した自然体験を通じた余暇活動」に取り組む活動です。

ポストカード販売と募金の総額41,288円は宝来館へ送金し、プロジェクトに活用いただくこととなっております。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

**捨てないで良かった！
ワクチンで300人の命を救う！
—ペットボトルキャップ収集活動—
今年は、実に606Kg！**



老人クラブ連合会（西田 勉会長）が中心となって、行っているペットボトルキャップの収集活動ですが、平成24年度に収集した606Kg（昨年から114Kg増）を南幌町にある全国障害者福祉援護協会北海道地区本部（西田喜一本部長）に届けてきました。

1Kg（400個）当たり10円が途上国の子どもたちのワクチン（ポリオ等）となります。今後ともご協力をお願いいたします。

無料法律相談のご案内

社会福祉協議会は、法律でお悩みの方を対象に下記の要領で無料法律相談を開設しています。

また、日常の心配ごとや困りごとで相談を希望される方の対応もしておりますので、いつでもご連絡ください。

- ◇開設日時 **7月19日(金)13時～16時**
毎月第3金曜日に開設
※8月以降の開設日は、町広報にてお知らせいたします。
- ◇申し込み 事前に社協へ電話予約
※先着順とさせていただきます。
- ◇相談料金 **無料**
- ◇相談時間 おおむね20分程度
※あらかじめ相談内容をまとめ、必要な資料をご持参下さい。
- ◇開設場所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」
- ◇相談員 札幌弁護士会所属弁護士

車いすを無料で貸出します

- 対象者 一時的に必要な方
・イベントへの参加や旅行
・通院等の外出
・一時的な入退院
- 貸出料金 **無料**
- 貸出期間 おおむね1週間
※貸出期間は相談に応じます。
- 貸出場所 総合福祉センター「しゃるる」

歩行器・ベットの無料貸出

- 対象者 必要な方
- 貸出料金 **無料**
- 貸出期間 貸出期間は相談に応じます。
- 貸出場所 総合福祉センター「しゃるる」
栗山町役場(住民福祉課)

「福祉の杖」のご案内

- 対象者 おおむね65歳以上で歩行に不安のある方
- 料 金 1本800円
※2,300円－1,500円
(原価) (赤い羽根共同募金の配分金)
- 場 所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」
栗山町役場(住民福祉課)
南部公民館



ご厚志ありがとうございます

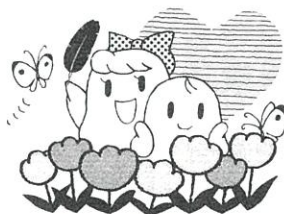
平成25年2月21日以降 平成25年6月20日までに
お寄せいただいた方

- 金一封
黒川 秀光様(朝日4)より 社会福祉事業へ
高野 和子様(角田)より 夫の逝去に際して
青木 一夫様(杵臼)より 社会福祉事業へ
栗山更生保護女性会(飯尾喜美恵会長)様より
社会福祉事業へ
村田 一様(新冠町)より 姉の逝去に際して
※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

平成25年7月1日発行(第91号)

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階
TEL (0123) 72-1322
FAX (0123) 72-5121
E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp
ky_sya@mssk.gr.jp
印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受け作成しています

選、サッカーのワールドカップ予
選、日本男子は見事に来年ブラ
ジルで開催される本大会への切
符を手に入れました。
オーストラリア戦の試合終了
間際は、希望とあきらめが交錯
する手に汗握る展開から、歓喜
の瞬間へと導かれました。
試合が終了し、興奮冷めやら
ぬ中、「俺は、ブラジルに行くこ
と友人からメールが...」
と友人からメールが...
来年の今頃、歓喜の万歳をす
る姿がテレビに映るかなあ。

編
集
後
記